

# 水道施設総合管理計画

(令和7年度改訂版)

【概要版】



令和8年(2026年)3月

 越谷・松伏水道企業団



## 総論

### はじめに

当企業団は、越谷市と松伏町を給水区域とし、昭和44年（1969年）4月に設立され、増加する水需要に対応するため、拡張事業により施設整備を進め水道水の安定供給を図ってきました。近年では人口減少等による水需要及び給水収益の減少が見込まれる中、頻発する地震等の自然災害に備えるための水道施設の耐震化や老朽化対策等に要する費用の増加が見込まれるなど、水道事業を取り巻く環境が厳しさを増しています。

このような状況を踏まえ、将来にわたりいついかなる時でも、安全で良質な水を安定的に供給するため、最新の水需要予測に対応した施設整備を計画的に進めていく必要があることから、中長期の施設等の更新需要及び財政収支見通しに基づくアセットマネジメントを実践し、改訂から5年が経過した「水道施設総合管理計画」（以下「本計画」という。）の改訂を行いました。

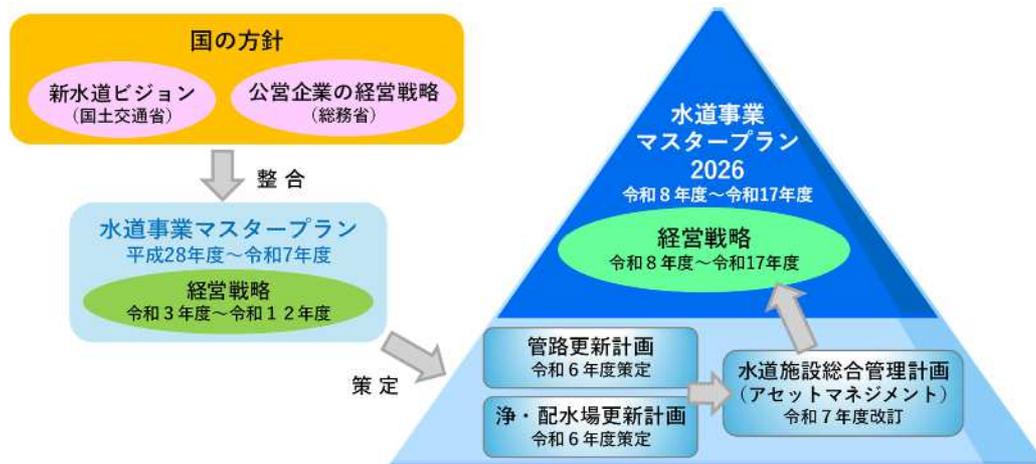
### 定義と目的

持続可能な水道事業を実現するために、中長期的な視点に立ち、水道施設のライフサイクル全体にわたって、効率的かつ効果的に水道施設を管理運営する体系化された実践活動を指し、以下の①～④の目的を達成することが期待される。

- ① 中長期的な視点を持って水道資産の管理運営が実践されること。
- ② アセットマネジメントの実践を通じて、維持管理、計画及び財務等の各担当が、更新投資の必要性や財源確保について共通認識を持つこと。
- ③ まずできることからアセットマネジメントを実践し、その実践により明らかとなった課題を解決することにより、資産管理水準の継続的な向上につながること。
- ④ 財源の裏付けを持った更新需要見通しを作成することで、水道施設への更新投資が着実に実施されること。

## 計画の位置付けと期間

改正水道法では、長期的な観点から施設等の更新需要を的確に把握したうえで必要な財源を確保しつつ、水道施設の計画的な更新に努めることとされています。本計画では、それらを踏まえた中長期の施設等の更新需要と財政収支見通しに基づく今後60年間の水道施設等の整備方針を示すとともに、総務省が全国の地方公営企業に策定を要請している中長期的な経営の基本計画である「経営戦略」の「投資・財政計画」の基礎資料として位置付けます。(計画期間:令和8年度(2026年度)~令和67年度(2085年度))



## 水道施設の概要

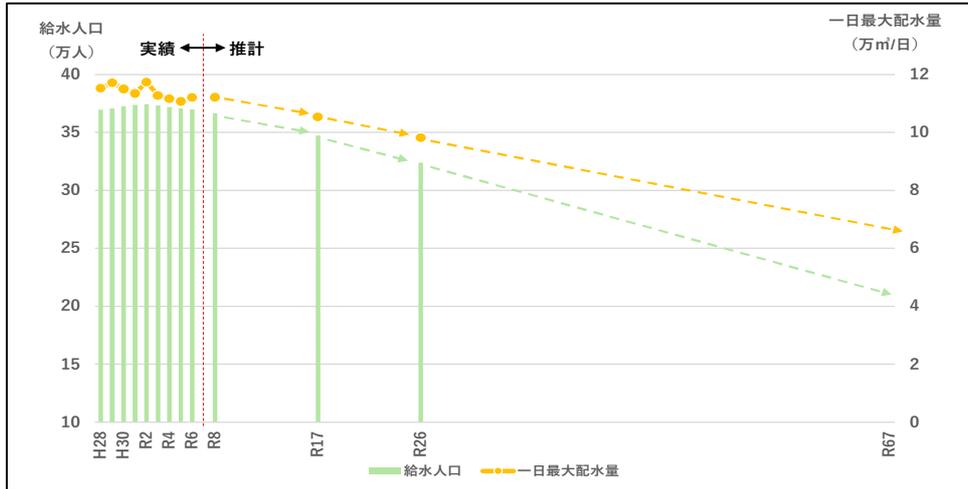
水源は河川水(約9割)と地下水(約1割)で、5つの浄・配水場からお客様に水道水を供給しています。配水能力は全体で180,000m<sup>3</sup>/日、管路の総延長は1,286kmとなっています。(数値は令和6年度末時点)

水源	河川水(約9割) 地下水(約1割)
浄・配水場	5施設
配水池	13池
配水能力	180,000m <sup>3</sup> /日
管路総延長 (導・配水管)	1,286km



## 水需要の推移

施設規模を検討するための基礎的な数値である「一日最大配水量」は、人口減少及び水需要の減少に伴い減少傾向を示しています。算出された各年度の計画一日最大配水量等を基準に計画的・効率的に施設整備を行います。



## 更新基準年数

浄・配水場施設等や配水管には、それぞれ法定耐用年数が定められており、この年数で更新した場合、過去に整備した施設等の更新時期と更新費用が特定の年度に偏り、一時的に経営への負荷が集中することから、適切な維持管理を行いながら、各施設等の特性を考慮した「更新基準年数」を設定することで、更新費用の平準化を図り、計画的・効率的に施設整備を行います。

### <更新基準年数>

区分		法定耐用年数	更新基準年数の設定値
建築		50年	70年
土木		60年	73年
電気		6~20年	26~27年
機械		10~17年	23~27年
計装		10年	20~22年
管路	铸铁管	40年	50年
	ダクタイル铸铁管(耐震継手GX型)		120年
	ダクタイル铸铁管(耐震継手NS型)		80年
	ダクタイル铸铁管(上記以外のもの)		60年
	鋼管		40年
	硬質塩化ビニル管		40年
	ポリエチレン管(高密度、熱融着継手を有する)		100年
	ポリエチレン管(上記以外のもの)		40年
	ステンレス管(耐震継手を有する)		60年
	ステンレス管(上記以外のもの)		40年

# 管路更新計画

## 計画の概要

水道事業では、管路更新計画を以下のとおり分類し策定しています。

### ○「基幹管路更新計画」

基幹管路を対象とし、水道施設更新指針で示されている老朽度と重要度の評価手法に加え、重要給水施設配水管の優先性、ダウンサイジングを考慮した計画。

### ○「配水管（350mm以下）更新計画」

350mm以下の配水管を対象とし、「耐震化計画」と「老朽管更新計画」に分類し策定。

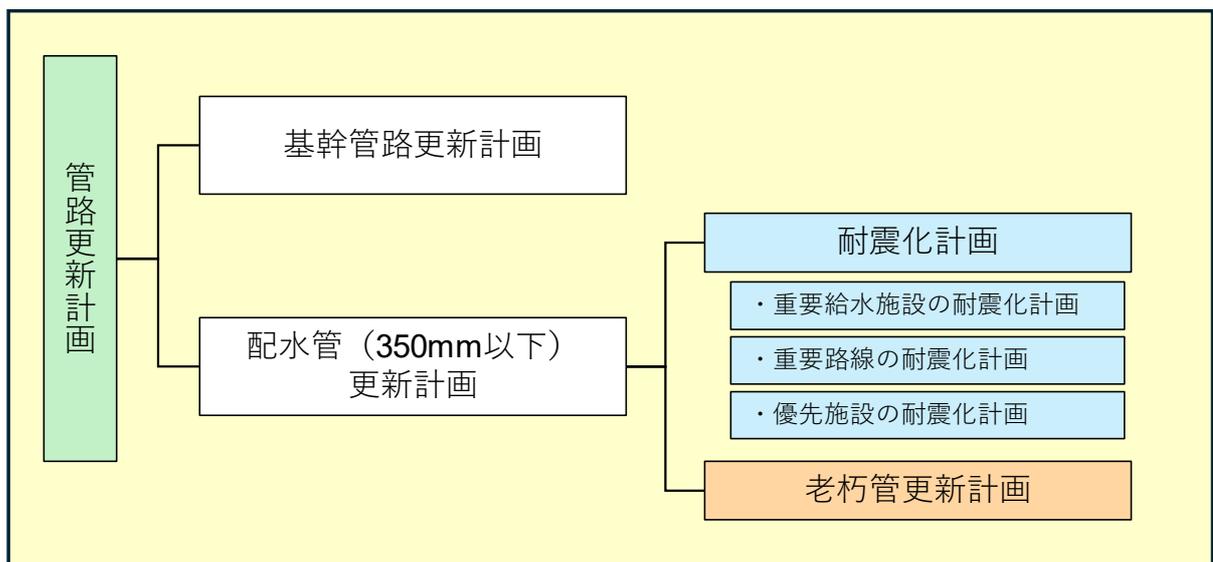
#### ・「耐震化計画」

災害時における水の安定供給を図るため、重要給水施設・重要路線・優先施設を総合的に評価し、耐震化の優先順位を定めた計画。

#### ・「老朽管更新計画」

漏水や濁水、災害時における被害範囲の抑制化を図ることを目的とし、法定耐用年数を超過した非耐震管が集中し、濁水などの実績が多く確認されている地区（重点5地区）の更新を優先するほか、日常点検及び漏水調査等に基づきリスクが高いと判断される非耐震管を対象とした計画。

<管路更新計画の分類>



# 浄・配水場更新計画

## 計画の概要

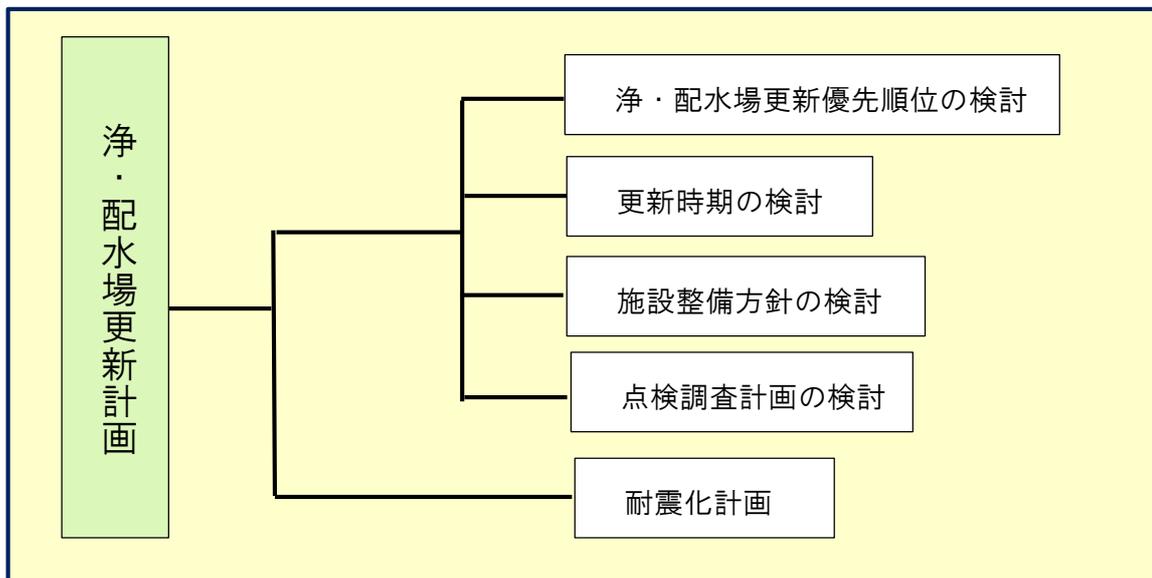
### ○「浄・配水場更新計画」

中長期の水需要を基に施設規模の適正化を検討するとともに、保有する施設の老朽化進行状況を予測し、強靱で安定した水道事業に資する実効的な計画であるとともに適切な維持管理を行うことで、更新時期の見直しを図り、各施設が抱える課題を踏まえた優先度を検討決定した計画。

### ○「耐震化計画」

災害時における水の安定供給を図るため、急所施設の耐震化優先順位を定めた計画。

<浄・配水場更新計画の分類>



**越谷・松伏水道企業団 水道施設総合管理計画(令和7年度改訂版)【概要版】**

〒343-8505

埼玉県越谷市越ヶ谷三丁目5番22号

TEL 048-966-3931(代表)

FAX 048-963-0706

令和8年(2026年)3月発行

編集・発行 越谷・松伏水道企業団

